

報道機関 各位

市立小・中学校で東京消防庁東久留米消防署による 熱中症対応実地研修が実施されました



5月22日・27日・29日に、市内の小学校1校、中学校2校において、教職員を対象とした東京消防庁東久留米消防署による熱中症対応実地研修が実施されました。この研修は、熱中症に対する正しい理解と発生時の初期対応を学ぶことを目的とした教職員研修です。

【当日の様子】

研修は2部構成で、前半は、熱中症についての正しい理解と対応について講義型研修を行いました。同消防署員が講師となり、パワーポイントを使用して、WBGT計や熱中症予防情報サイトの情報を活用して活動環境の整備を徹底すること、発症時は上手な水分補給と冷却を徹底することなどの説明を受けました。画面を見ながら、熱心に聞き入る教職員の姿が見られました。

後半は、熱中症の症状が見られる生徒役と教師役に分かれて、校内の様々な場所で熱中症が同時発生した場合の想定訓練を行いました。症状を訴えて保健室に来る生徒、トイレで具合が悪くなる生徒、次々に症状を訴える生徒が増えてい

報道機関 各位

く中、司令塔となって対応に当たっている教員も体調不良を訴え始める……熱中症という命にかかわる危険が次々と迫る中、教職員一人一人の咄嗟の判断や、迅速且つ組織的な対応が求められ、参加した教職員も戸惑い、意見を出し合いながら解決策を探していました。最後に、同消防署員からの的確な指導や解説を受け、深く納得する場面もありました。

【研修に関するコメント】

実施校の校長先生は、「緊急時は正確性よりも迅速性を重視し、組織的な対応が求められることが分かった。教職員にとっても、対応マニュアルの確認だけでなく、リアルな発症場面での具体的な動き方について、学びの多い研修となり、ありがたかった」と話してくれました。



■問い合わせ先

指導室長 小瀬 電話042・470・7780